

全国88,000社の整備工場とNGP組合員200拠点を結ぶホットライン

2006.12月号

NIPPON GOOD PARTS



NGP 創立20周年記念式典を開催

創立者の大石名誉顧問を迎え新たな飛躍を誓う!!

NGPは今年創立20周年を迎え、去る10月20日、NGP発祥の地である九州（福岡）にて「NGP 創立20周年記念式典」を挙行了いたしました。

式典では柔道家の古賀稔彦氏（バルセロナ五輪金メダリスト）をお迎えして記念講演も行われ、多数のご来賓にもご列席いただきました。

また、式典に先駆けてNGP協同組合の第二回通常総会も行われました。



NGPの20周年を振り返り、新たな決意を語る青木理事長

成人式を迎え、草創期から成長期へ NGPは更なる成長を目指す!!

今年20周年を迎えたNGPは、国内で初めて自動車リサイクル部品のオンラインシステムを構築し、全国の自動車整備工場や钣金工場、またカーディーラーの皆様にも安心して、高品質のリサイクル部品を使っていただくための仕組み作りを20年掛けて積み重ねてきました。

2005年に施行された自動車リサイクル法にもいち早く対応し、使用済自動車の適正処理、法令遵守の基盤作りを進めてきました。更に一昨年には全国で初となる事業協同組合として生まれ変わり、昨年はマーケットシェア拡大に向けた事業戦略「MS50」プロジェクトをスタートさせるなど、自動車リサイクル業界のオピニオンリーダーとして常に第一線を歩んできた20年でもありました。

青木勝幸理事長はNGP20周年を振り返り挨拶し、「NGP（グループ）として20周年を迎え、人生で言うならば成人式を迎えたということになります。我々にとって、この20年は決して平坦な道ばかりでなく、NGPグループの体制そのものが存続できるのか？また、まったく違う組織として生まれ変わっていくのか？という選択を迫られる大きな試練もありました。しかし、その大きな試練の波も今のNGP組合員の結束力で乗り越え、今日20周年を迎えることができたわけです。

この結束力は創立当初に大石一彦名誉顧問が掲げた「お客様第一」という理念を徹底的に実践してきたことで今のNGPの礎が築かれました。

この20年が草創期であるならば、21年

目からは成長期であり、NGPは成長の時代に入っていかなければなりません。成人式を迎えたNGPとしては、皆様から更にご指導いただき、また自分の主張もきちんとしていく。その中でNGPがこの自動車リサイクル業界の中で生き残り、次世代の人材育成など組織として成長していく、そういう考え方で今後もNGPグループ全体の運営を進めていきたいと思えます。

この20年で培った結束力と感謝の気持ちを忘れずに新しい時代に一步踏み込んで行きたいと思えます。」と節目の20年を迎え、新たな決意を語りました。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合第2回通常総会を開催!!

MS50プロジェクトを強力に推進

20周年記念式典に先駆けてNGP協同組合の第2回通常総会を開催しました。

昨年の第1回通常総会に於いてキックオフ宣言をしたMS50(マーケットシェア50%)戦略」の1年間の活動報告を行い、NGPダイレクトシステム展開による自動車整備業者とのリサイクル部品供給システムコンタクトの構築が進んでいること、またエンドユーザー向けの使用済自動車引取サービスの「くるマック」事業の展開、あるいは組織会員拡大に向け生産登録賛助会員制度を新設するなどMS50戦略の実践によって生まれた効果を発表しました。

青木理事長は、今期は更に前期のMS50戦略の組織活動及び各組合員活動の評価と反省を活かし、経営者研修会の実施や各委員会活動でも全面的にMS50戦略を押し出し、「継続・改善・実行」をキーワードに残り1年間のMS50目標必達のために全組合員が全力で取り組むことを改めて宣言しました。



通常総会ではMS50戦略の更なる推進を全組合員で再確認

定例記者会見も開催

NGPダイレクト・モバイルシステム稼働

通常総会後に定例となっている記者会見を開催しました。

その中で、NGP営業マン向けモバイルシステムの導入を発表しました。このシステムは営業マンが訪問中のお客様先でもノートパソコン等を使用してNGPダイレクトの使用が可能になります。在庫の有無・小売価格の提示までをリアルタイムに検索・表示し、その場において受発注を促進する新たな営業ツールになります。

今後は更に仕組みを発展させて携帯電話のiモード等でも使用を可能にするシステムを開発しています。NGP協同組合ではこれからも自動車リサイクル部品の普及促進、さらなる利便性を目指してシステム開発を行っていきます。



定例記者会見を開くNGP主脳陣

感動呼んだ創立20周年祝賀パーティー

記念講演会には柔道家:古賀稔彦氏が登場!!

NGP協同組合の通常総会に続いて20周年記念講演会にはバルセロナオリンピック柔道金メダリストの古賀稔彦氏が登場しました。現役時代、ケガを乗り越えてのオリンピック優勝秘話や指導者になられてからの選手育成で考えることなど体験談をもとに語られ、「目標を掲げることで夢は実現する」という強い信念を持つことが大切であることを熱く語っていただきました。人材育成や目標達成のための思いは、まさにMS50に取り組む今のNGP組合員の胸に強く刻まれる最高のメッセージとなりました。

NGP20年の歴史をビデオで上映!!

20周年記念大会の最後は来賓関係者を多数お招きして祝賀記念パーティーを開催しました。式典の冒頭には、NGP20年の足跡をビデオ上映し、NGPに携わってきた全ての人たちの想いが集約された感動的なVTR上映となりました。

上映後にはNGP立ち上げから常に先頭に立ち今日のNGPの礎を築いた大石一彦



大きな拍手の中、大石名誉顧問に福祉車両が贈られた
名誉顧問が壇上に登場され、会場から大きな拍手が送られました。

目に涙を浮かべて語る青木理事長の手から大石名誉顧問に福祉車両の鍵が手渡されると大石名誉顧問からは「これからも一生、NGPに関わっていきたい」と、NGP組合員にとっては心強い言葉を頂くことができました。

記念パーティーには多くのご来賓にご出席いただき、またたくさんのご祝辞もいただき、20周年にふさわしい式典とすることができました。

ご祝辞を頂いたご来賓の方々



経済産業省 製造産業局
自動車課 呉村益生課長補佐



福岡県 環境部
角 敬之部長



あいおい損害保険㈱
松本 勉常務役員



日本自動車車体整備協同組合連合会 丸山憲一会長



BSサミット
磯部君男会長



日本ELVリサイクル機構
酒井清行代表理事

120名の研修生が“燃やせNGP魂”を体現!!

第13回NGP基礎研修会を開催!!

NGP協同組合は去る10月5日から10月8日の4日間の日程でBumB東京スポーツ文化館において今年二度目の基礎研修会を開催しました。

今回も全国の組合員各社から若手社員を中心に120名の受講生が参加。NGPマンとして“お客様第一”を常に実践できるプロ集団となるべく基本の挨拶訓練から学び、新たな決意を胸に刻みました。



120名の研修生と講師、スタッフ全員で記念撮影

一人ひとりのお客様の満足の上にNGPは成り立っている!!

研修会の中で講演した青木理事長は冒頭に「ここにいる研修生は生産者、フロントマン、営業と違う立場の人が集まっていますが、お客様は全ての部門で共通です。その全てのお客様に喜んでもらうため、また満足してもらうために我々は日々努力をし、その気持ちの上にNGPは成り立っています。」と“お客様第一”の意味を語り、NGPはお客様満足を目指すプロ集団であることを研修生も皆改めて理解し、挨拶訓練等にも真剣に取り組みました。

特に今回の基礎研修会のようにひたすら理念だけを投げ掛ける研修会は、他のNGP研修にはないスタイルです。講師陣も受講生以上にハードではありますが、それが言動に表れ直接的に伝わり、上っ面だけのマニュアル化された言葉では“熱い想い”は伝わらないのだと痛感させられました。

見ず知らずの人間が120名集まり、当日班編制を発表され、初めの内は互いに牽制し自分を出せずにいたのが、時間を追うごとにバラバラだった班員が少しずつ心を開き、団体試験では間違っても講師から指摘されるのではなく、自ら手を挙げ“間違えました”と自身を認める行動を取るようになり変りました。それが班員の心を次第にひとつにし、彼等自身が知らずに引いてしまっていた限界を超えることが出来たのでしょうか。

試験では合格するごとに互いの手をとり涙している姿を見て、もらい泣きする場面も多々ありました。また、研修中には体調をくずす者、足がむくみ歩行困難になる者、腰を痛め立てない者も出ましたが、試験中には列から離れざるを得ない状態

になっても決してその場を去ることなく、座りながらも必死になって試験に挑む仲間を応援し続けていました。本来であれば大声を出して



青木理事長はNGP基本理念について講演を行った



訓練はまさに受講生と講師陣のNGP魂のぶつかり合い

応援したい筈が、真剣に挑んでいる仲間に対して自責の念に駆られているのが、身体を震わせながらもじっと目を凝らし、その締めている唇から微かに漏れた“頑張れ”という声。その光景はとても印象的で、恐らくあの場にいた全員が同じように様々な意味で感銘を受けたのではないのでしょうか。

講師達も決して自己満足のためではなく、ただひたすら受講生と真剣に向い合った結果、それが厳しさとなり必然的な形として言動に現れたのではないのでしょうか。確信したことは、真の優しさを持ち得なければ断じてあそこまで厳しくはできないということです。その優しさ故の厳しさが全てを物語っているのではないのでしょうか。

そして、“燃やせNGP魂”は確かに、熱く燃えました。

感想文

東北支部 ㈱永田プロダクツ 菅原みどり

私は入社7年超で初めてNGPの研修会に参加させて頂きました。前回の基礎研修会に参加した人から「総務でも全然関係なく大丈夫だから行ってみて、自分が体験してみた方がよい」と言われ、それならと参加を決意しました。しかし、研修は私の想像以上にスタートから大変なものでした。見ず知らずの100人以上のメンバーの中で大声を出すところ、しかも大雨のグラウンドの中で、初日の夕食が終わり、班行動になると、少しだけ安心感が生まれましたが、それもあっという間に打ち破られました。「連帯責任」が私の不安感を煽ったためです。自分のせいでは他の人に迷惑がかかる。本番まで時間がないのに、絶対に無理と思いついていました。講師の皆様方が、何度も繰り返した「まだ本気ではない!!」に心の底から「もう十分本気だよ」と思いましたが、人間はとても不思議なもので、出来ないと思いついてるものが潜在能力を引き出してくれる力があると出来るものなのですね。講師の皆様方の「何ぞ!!」と思わせる導き方、一期一会の不思議な連帯感、最終日の今日になって初めて味わう爽快感。先に研修を終えた社員達がなぜあんなに喜んでくれたのかが分かりました。会社や私生活では絶対に味わえないこの気持ち。会社の為にも、また人としても、ぜひ今度は私が奮いついていきます。

東北支部 ㈱アイエス総合 千葉貴弘

正直、初めは会社から強制的に行くように言われ、抵抗を感じていました。そして研修に参加してみると、やはり話に聞いた通り全てにおいて厳しいと思えました。初日は圧倒される事が多く、付いて行くのがやっとでした。しかし3日目のラジオ体操で、自分のミスで不合格になってしまった現実を突きつけられ、本当に悔しかったです。そして何より班員の皆に本当に申し訳ないと思えました。そして私の班は最後の最後間際にやっと再試験を受けることが出来たのですが、ミスした部分をなかなか克服できず、また迷惑を掛けてしまったもの、やっとうまく動きが揃い、合格をもらうことができました。その時、講師の方に「お前達の力だけでできたのか?」「お前達の後ろには応援してくれた仲間がいるだろ!!それがNGPだ!!」と言われ、とても感動し、後ろを振り返った時に応援して下さいました仲間達を目にし、思わず涙が出ました。最後の最後に仲間の大切さ、この研修の厳しさの意味、講師のみなさまのキビシさの裏に秘められた優しさを感じることができ、NGPの基礎研修会に参加して本当に良かったと思えました。

南関東支部 ㈱ヤタパーツ 望月法康

研修初日の開会式の前、講師の方々への入室の様子を目の当たりにして、この研修は普通じゃないなと感じました。会社で、本気でやらないと修了できないとは聞いていましたが、正直、完全に甘く考えていました。実際、初日は非常に苦痛に感じました。団体行動にしても全く揃わず、他の班と比べ劣っているのが丸分かりで、先も見えず、非常に不愉快でした。しかし、カリキュラム終了後に皆で集って遅れた分や宿題をしているうちに、自分が他人に頼っていることを自覚し、とことん本気でやってみようと思えました。一番つと来たのがラジオ体操でした。全日最後まで一度も合わなかったのが、切羽詰まって全員が本気でぶつかったことにより合格できたからです。今までの人生で人と協力し、本当に本気でぶつかつて行き、それを乗り越えたことが無かったので、初めて乗り越えて味わった達成感の気持ち良さ、何物にも代え難い宝物となりました。この研修のこの厳しさは、この宝物を得る為には必要不可欠なものだと思いました。この研修を乗り越えたからこそ、この感想文を書いている今も、同じ班の仲間全員で集まって取り組んでいるのだらうと感じています。



感動の修了式では坪副理事長から研修生の代表に修了証書の授与



研修生代表の10名が決意表明を全員の前で読み上げた

決意表明

九州支部

㈱オートパーツ伊地知 並松剛
腹の底から気持ちを込めて、挨拶をします。今まで、口先だけの挨拶をすることがありました。気持ちを込めて挨拶をします。何事においても、全力で取り組みます。これ位で良いのだろうか、これで限界と決め付けず、全力で取り組みます。人との関わりを大事にします。自分さえ良ければという気持ちを捨て、人との関わりを大事にします。率先して行動します。自分がやらなくても誰かがやるだろうという気持ちを持って、率先して行動します。時間厳守します。5分前行動を心掛けます。またお客様とは、自ら時間の約束し、守ります。

北関東支部

㈱CRS埼玉 池田秀一郎
NGPの一員であることを忘れずに自信の持てる商品を生産していきます。お客様第一、お客様あってのNGPであることをしっかりと自覚していきます。自分一人で仕事はできません。互いに助け合いながらやっていきます。作業をシステム化する、作業効率の良い流れを確立していきます。今の自分に満足せず、さらなる向上を目指します。

北関東支部

リバーツ㈱坂井自動車 石本朋伯
多くのNGPの仲間があつて今の自分があることを忘れず、自信を持って営業活動をしていきます。仕事に対して緊張感を持ち続け、不要なクレームを発生させないようにします。自分に自信を持ち、断りに離れることなく新規開拓をします。お客様に真の意味で信頼される営業マンになります。お客様の利益のため、NGP全体の発展のため、本気の営業活動を行います。

NGP協同組合、 「エコプロダクツ2006」への 出展を決定!!

12月14日～16日までの3日間
東京ビッグサイトで開催

より一般ユーザーへのPRに効果的な展示会!!
入場無料

NGPは、12月14日から16日までの3日間、東京ビッグサイトでされる「エコプロダクツ2006」に出展いたします。この展示会は国内最大級、また世界でも類を見ない規模の環境展で観客動員数も多く、一般ユーザー向けに「くるマック」の知名度向上やリサイクルパーツの活用促進をアピールする場として出展を行うことになりました。



エコプロダクツとは?

この展示会は、環境問題への意識が向上し循環型社会へのシフトが進む中、企業は一層の環境経営やCSRの確立に推進することが求められ、市場では多くの「エコプロダクツ」が環境性能を競っている中で、エコプロダクツの普及とビジネスチャンスを広げることを目的に1999年にスタート、2006年で8回目の開催を迎えます。出展者数は2005年に500社・団体を超え、14万人以上が来場する、国内最大級の環境総合展です。

また自動車関連企業も多数出展しており、同展示会の趣旨がNGPの一般ユーザー向け廃車引き取りシステム「くるマック」のPRやリサイクルパーツの活用をさらに促進して環境問題に貢献していく意図とも完全に一致しており、観客動員数もこれまでの展示会より多いと予想され、NGPでは出展を行うこととしました。

エコプロダクツ2006公式ホームページ
<http://eco-pro.com>

「くるマック」の知名度向上を図る!!

同展示会でのNGPブースは本年のIAAE出展時と同様にくるマックのイメージカラーである黄色とNGPのイメージカラーである青を基調としたカラーリングといたします。

主な展示内容もIAAE出展時と同様ですが、より一般ユーザー向けに「くるマック」並びにリサイクルパーツのPRを行うべく、「くるマック」のリーフレットや卓上カレンダーといったチラシ類の配布を1日3,000部を目標に行い、また各種リサイクルパーツの展示も行う予定です。

エコプロダクツ2006[第8回]

開催概要

会期:2006年12月14日[木]～16日[土]
10:00～17:00

会場:東京ビッグサイト
東展示場 1～3+4ホール
NGPブース:東4ホール(小間番号4034)



NGP 通信欄

< 組員情報変更 >

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
中四国	旬オートパーツ新居浜	住所表示	愛媛県新居浜市多喜浜6丁目9番84	18年10月1日

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp>

梯NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201